



こと言の葉 kotonoha

築館高等学校 図書館だより
発行：令和5年9月8日
文責：司書 佐藤

築高祭も終わり、9月に入りました。夏の疲れは少したってから出てきたりします。体調を整えていきましょう！暑い夏から読書をするには良い秋へとつります。季節に合わせて本を選んでみるのも良いかもしれませんね。話題の本も入ってきていますので、ぜひ図書館へ足を運んでください。

2023築高祭
図書委員会

絵巻の世界

宮城県図書館より、「鳥獣戯画卷」「百鬼夜行図」「源氏物語絵巻」のレプリカをお借りして展示しました。図書委員さんたちが夏休みに入る前から準備を進め、今年度は生徒、保護者、そして地域の方にもご覧いただくことができました。準備の様子と当日の様子を紹介します！



来場者へプレゼントする
リーディングトラックの作成



ブラックボード作成や、絵巻についての模造紙の作成中！
夏休み前に自分たちが調べたことがまとめられています。



一般公開にむけての準備です。自分たちで作成した
資料や参考にした図書を展示します♪

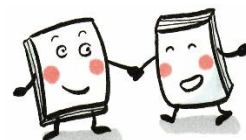


当日の受付や後片付けまで、しっかり活動できた図書委員のみなさん、お疲れ様でした。

用意したプレゼントが足りなくなるほど、
たくさんの方に見ていただくことができました！！



令和5年度宮高図研「生徒図書委員の集い」参加報告



令和5年7月26日(水)、宮城県高等学校図書館研究会主催による「生徒図書委員の集い」が仙台市福祉プラザに於いて開催されました。県内高校の図書委員が一堂に会し、様々な活動などについて話し合う絶好の機会となっています。築館高校からは1年生の図書委員2名が参加してきました。

内容

【全体会Ⅰ】ビブリオバトルの新しい試み Bibjobattle 団体戦

ミステリー・歴史小説・海外の名作のジャンルで紅白戦！！

【全体会Ⅱ】「ハッピーエンドとバッドエンド どちらが好き？」

「作品は作者のもの？読者のもの？」 2つのテーマで対話型ブックトーク！！

●参加者の感想●

【Kさん】

第一部で行われたビブリオバトルは両陣営とても白熱していて、聞いていてとても楽しめました。第二部の筆者と読者の考え方の討論は、ステージに出ている人も、客席側で意見を述べていた人も、本についてそれぞれしっかりとした考えがあり、今後本を読む上で参考になるものがたくさんありました。

【Hさん】

この集いに参加し、県内の本好きな高校生のお話をたくさん聞き、とても有意義な時間を過ごせました。小説をプレゼンするビブリオバトルや「ハッピーエンドとバッドエンドどちらが好き？」「作品は作者のもの？読者のもの？」といったテーマで討論するブックトークなどを観客参加型で行いました。その場にいるみんなが読書家で、高い語彙力と豊富な知識を用いて論じる姿にとっても圧倒されました。また、ビブリオバトルは各々の好きな本を紹介し「読みたいと思わせた数が多い方が勝ちというもので、本にあまり興味の無い人でも楽しめる内容だったので、どこかで活用してみたいです。本が衰退するこの時代に、こんなにも本にあふれた時間が過ごせて、とても楽しかったです。

県内の高校生みなさんが、「自分はこう思う、考える」という思いを堂々と、はっきり話していた姿が印象的でした。同じ作品でも何をもってハッピー、バッドと考えるのかなどの深い論議に、私も考えさせられる意見をたくさん聞くことができました。高校生すごい！！

【司書 佐藤】

これ！まず読んで！！



杉井 光 『世界でいちばん透きとおった物語』

新潮社文庫刊 2023年

大御所ミステリ作家の宮内彰吾が亡くなった。死ぬ間際に書いていたらしい小説を燈真(とうま)が知っているのではないかと、宮内の長男から連絡がはいる。宮内と関わりたくないと思っていた燈真だが遺稿を探し始めることに。ラストに衝撃が待っている！！